



東日本大震災で被災した石巻と南海トラフ巨大地震に備える四国をつなぐ 伝承交流講演会

～イラストやアニメーションで伝承する可能性～

1. 日時：2022年3月23日(水)10時～11時45分

2. 方法：ライブ配信(zoom ウェビナー), ※要申込 ※参加費無料

3. 内容：災害教訓の風化が全国的な課題になっています。そこで、「石巻」では、アニメーションを使った方法で東日本大震災の教訓を“伝え”，“つなげよう”とされています。私たち「四国」も、イラストマップで防災風土資源を伝え、学ぶことを始めました。本講演会では、「石巻」と「四国」で議論し、皆さんと一緒に広く多くの人に災害教訓を伝えていくことについて考えます。



4. 申込/参加方法：締め切り、2022年3月20日(日)

右のQRコードまたは次のURLより(https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdzJJOYUDM7JKa2NZ7byA8LNMu4KNqOeA-nzdfPR2va-sD9IA/viewform?usp=sf_link) 申込みください。後日、zoom ウェビナーの URL を送付いたします。



■当日プログラム

- 3.11 みらいサポート MEET 門協での取り組み
(（公社）3.11 みらいサポート 中川政治氏)
- 東日本大震災の被災体験と語り部活動
(Tell-子どもの目線から伝える被災地- 武山ひかる氏)
- 四国防災八十八話マップの活動紹介
(環境防災研究センター 学術研究員 松重摩耶)
- 石巻と四国をつなぐ伝承交流ディスカッション
(進行 環境防災研究センター センター長 上月康則)



震災伝承交流施設 MEET 門協

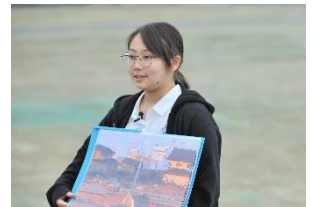
▼ゲスト:公益社団法人 3.11 みらいサポート専務理事兼事務局長 中川政治氏

京都市生まれ。東日本大震災後に石巻で活動を開始し、震災直後の支援の連携に携わった。その後、「つなぐ 3.11 の学びを生きる力に」をミッションとした現団体の専務理事を務め、語り部等の住民主体の伝承活動をサポート。MEET 門協などの民間の伝承施設の運営にも携わる。また、2017年に設立した広域伝承組織「3.11 メモリアルネットワーク」の理事も務めている。



▼ゲスト:Tell-子どもの目線から伝える被災地- 語り部 武山ひかる氏

震災時は小学校4年生(現在大学3年生)。地震後、家族が学校と車で高台に避難したが、寒さのため自宅に戻ろうとして危険な状況に。自宅は全壊したため避難所から小学校に通っていた。避難所生活をする中で「子どもでもできることがあり、力になりたかったが何もさせてもらえなかった」という思いを抱えて過ごした経験から、子どもの視点での語り部や、絵本による伝承の取り組みを継続。



▼徳島大学環境防災研究センターと四国防災八十八話マップ

四国に伝わる防災の教訓を一枚にまとめたマップを作成し、地域防災学習を行っています。本マップは「土木広報大賞 2021 最優秀賞」を受賞しました！くわしくは右のQRコードからご覧ください。



問い合わせ先:徳島大学環境防災研究センター(松重) TEL:088-656-8965 FAX:088-656-8017
主催:徳島大学環境防災研究センター 企画:四国防災八十八話普及・啓発研究会 協賛:一般社団法人四国クリエイティブ協会